

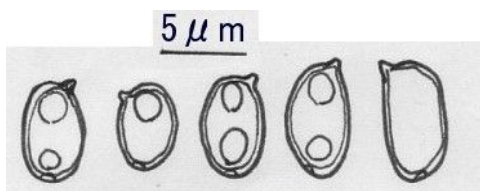
No. 0003

ニガクリタケ

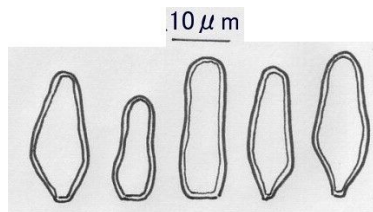
Hypholoma fasciculare (Huds.) Quél.



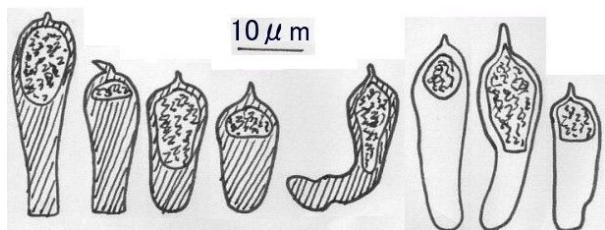




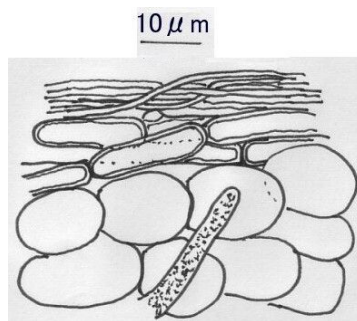
担子孢子



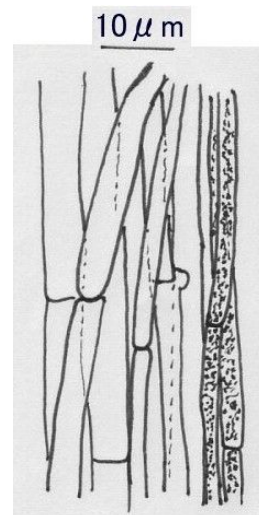
縁シスチジア



側シスチジア



傘上表皮



柄上表皮

●傘は径 1.5-2.0cm, 饅頭型のち平開し, 中央はときに突出する;表面は条線および粘性はなく, やや光沢があり, はじめは橙色のものが多く, 成長すると縁付近から淡黄色になるが, 中心では橙色を残し, 縁には白い被膜の名残があるが成長すると消失する.

●柄は 3.0-0.3cm, 上下同径か基部はやや細く, 中心性, 中空;表面は光沢があり, 繊維状でややだんだら模様を表し, 上部では傘と同色, 下部では茶色, 上部にクモの巣状のツバを持つが消失しやすく, 基部には白い菌糸がある.

- ヒダは密, 上生～直生し, 幅 0.15-0.2cm, 硫黄色のち紫褐色になる.
- 肉は傘では傘表面と同色, 柄では柄の表面と同色, 質はやや脆く, 特別な匂いはないが強い苦味がある.
- 胞子紋は紫褐色.
- 胞子は楕円形, 大きさ $5.0-7.0 \times 3.5-4.0 \mu\text{m}$; 表面は平滑, 厚膜, 発芽孔および油球がある.
- 担子器は確認できていない.
- 縁シスチジアは円柱形～紡錘形, 大きさ $17.5-25 \times 7.5-10 \mu\text{m}$, 表面は厚膜.
- 側シスチジアは棍棒形で先端は突出し, 大きさ $17.5-32.5 \times 8.0 \times 10 \mu\text{m}$, クリソシスチジアで薄膜, 茶褐色～無色である.
- 傘上表皮は3層の構造で $2.5 \mu\text{m}$, $7 \mu\text{m}$, $15 \mu\text{m}$ 程度の太さの菌糸が平行にやや絡みながら匍匐し, 所々に茶色の色素を凝着した菌糸が見られる.
- 柄上表皮は菌糸が平行にやや絡みながら匍匐し, 外側の菌糸は $2.5 \mu\text{m}$ 程度で茶色の色素が凝着している.
- クランプはすべての菌糸にある.

採集日 2006年4月6日
採集場所 神戸市北区山田町
採集環境 コナラ枯木
採集者 幸徳伸也
同定者 幸徳伸也
標本番号 なし